

ソフト事業		平成 26年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事務事業名	市街地活性化事業					担当部署	課名	商工観光課		
	予算事業名	市街地活性化事業						係名	市街地活性化室		
	事業区分	自治事務						電話番号	0765-23-1380		
	事業期間	開始年度	平成21年度	終了年度	当面継続			予会計	一般会計		
	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち						款	7. 商工費		
	政策名	7 魅力ある都市基盤の充実						項	1. 商工費		
	施策名	15 良好な都市の形成						目	2. 商工振興費		
総合計画	基本事業名	15-2 市街地整備の推進					アウトソーシング導入状況		導入済（協働）		
	根拠法令						総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		
2 事業概要	事業概要	モータリゼーションの進展やライフスタイルの変化等、商業・市街地等を取り巻く環境が大きく変化する中、中心市街地の商店街では、空き店舗が増加するなど空洞化が深刻な問題となっており、地域の特色を活かしたまち全体の魅力づくりや商業そのものの魅力づくりが求められている。このためには、従来の商業振興策に加え、市がまち全体のランドデザインを考えた上で、中心市街地の役割を明らかにし活性化に取り組む、まち全体という視点での活性化策を検討しなければならないが、市街地活性化やまちづくりのための市民の意識の醸成を図る。									
	対象	中心市街地にある商店街や地域の方々など									
	手段（活動指標）	講演会を企画、実施したり、国交省等が主催する研修会や先進地視察へ参加する									
	意図（成果指標）	中心市街地にある商店街や地域の方々が将来のまちづくり（市街地活性化）を考えるための意識の醸成や体制づくり・人材育成に向けた講演会の開催や情報収集等のための国土交通省等との打合せや関連研修会への参加、先進地視察を行い、まちづくりの主役である人づくり、組織づくり、地域づくりを目指す。									
3 指標	指標名		単位	25年度		26年度			27年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画		
	活動指標	① 講演会開催数	回	1	1	1	1	100.0%	4,343		
	成果指標	② 研修会等への参加数	回	1	2	1	2	200.0%	1		
		③ 先進地視察回数	回	1	0	1	0	0.0%	1		
		① 講演会への出席者数	人	200	200	200	150	75.0%	200		
		②									
③											
4 コスト情報	区分		単位	25年度		26年度			27年度		
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額		
	支出内訳	①需用費	円	106,000		106,000	99,909		69,000		
		②委託料	円								
		③工事請負費	円								
		④負担金補助及び交付金	円	40,000		40,000			40,000		
		⑤その他	円	280,000	125,400	281,000	106,810	-14.8%	291,000		
	支出合計（A）		円	426,000	125,400	427,000	206,719	64.8%	400,000		
	財源内訳	①国庫支出金	円								
		②県支出金	円								
		③地方債	円								
		④その他（使用料、雑入等）	円								
		⑤一般財源	円	426,000	125,400	427,000	206,719	64.8%	400,000		
	収入合計		円	426,000	125,400	427,000	206,719	64.8%	400,000		
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3		
		②年間所要時間	時間	900	900	900	900	0.0%	900		
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	3,780,000	3,780,000	3,780,000	3,780,000	0.0%	3,780,000		
	総費用（A+B）		円	4,206,000	3,905,400	4,207,000	3,986,719	2.1%	4,180,000		
5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	◇市民意識の醸成に向けた市街地活性化等ための講演会の開催 ◇市街地活性化に向けた情報収集のための国土交通省（新潟市、長野市）等との打合せ及び関連研修会への参加										
6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果		評価の理由				
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である		中心市街地の活性化・まちづくりには商店街・地域の住民・経済界等多くの方の意識を高める必要があるため。				
				目的の妥当性	1 妥当である		まちの空洞化に歯止めをかけるための中心市街地活性化に向けた議論と意識の醸成は不可欠であるため。				
				対象の妥当性	1 妥当である		行政だけでなく、住民・商店街・経済界等幅広く意識を醸成することが不可欠であるため。				
	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり		中心市街地活性化のための講演会の開催、国・県からの情報入手等を遂行できた。				
				類似事業の有無	2 検討の余地あり		さらに多くの方の意識の醸成を図るため、国等の補助メニューの活用も検討する余地があるため。				
				上位施策への貢献度	2 普通		具体的な整備に取り組む前には、多くの方の意識の醸成が必要であるため。				
	効率性	A	A	コスト効率	1 高い		並行在来線等対策連絡協議会、商工観光課内の他事業との連携により、極力予算執行を抑制したため。				
				実施主体の適正化	1 適正である		中心市街地活性化・まちづくりには、商店街・地域住民だけでなく、経済界・市民の方々の意識を醸成する必要があるため。				
				負担割合の適正化	1 適正である		現段階では、市が情報発信・情報収集する立場であるため、住民等へ負担を求めるものではないため。				
	1次評価（課長総括）		A	A	計画どおり事業を実施することが適当		2次評価	不要			
後（評価結果） の方針及び今後	中心市街地の空洞化については、以前から言われており、市街地の活性化のための議論をさらに活発化するためにも、引き続き情報収集・意見交換を行う必要がある。				評価結果						

ハード事業		平成 26年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事 務 事 業 名	経田地区土地区画整理事業				担 当 部 署	課 名	都市計画課			
	予 算 事 業 名	経田地区土地区画整理事業					係 名	区画整理係			
	事 業 区 分	自治事務					電 話 番 号	0765-23-1026			
	事 業 期 間	開始年度	平成16年度	終了年度	平成28年度		予 会 計	一般会計			
	総 目 標 名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				算 科 目	款	土木費			
	政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	都市計画費			
	施 策 名	15 良好な都市の形成					目	土地区画整理費			
基本事業名	15-2 市街地整備の推進				アウトソーシング導入状況			導入予定なし			
根 拠 法 令					総合計画等への記載			総合計画実施計画に記載			
2 事業概要	事 業 概 要	経田地区の住宅密集地である中央地区（3.5ha）で、公共施設の整備と宅地の利用増進を図ることを目的に土地区画整理事業を進め、道路や公園を整備することでコミュニティあふれるまちづくりを目指す。 平成19年5月に事業計画認可を取得し、平成20年3月の海側区域での仮換地指定に基づき、順次、家屋移転補償、上下水道工事及び道路工事を実施し、平成22年度において約1.6haを完了した。山側区域についても平成23年4月に仮換地指定を行い、海側区域と同様に事業実施しており、平成27年度に工事を完了し平成28年度に換地処分を目指す。									
	対 象	①事業区域となる経田中央地区内の住民（世帯）及び地区内の宅地について権利を有している者 ②事業区域内の道路									
	手 段 （活動指標）	区画道路の拡幅を進めるため物件移転補償を行い、また、県道沿いに関しても拡幅を進めるため県と協議をしながら、物件移転補償を行う。									
	意 図 （成果指標）	①住宅及び敷地が、幅員4m以上の道路に接するようになる。 ②4m以上の幅員を確保するようになる。									
3 指標	指 標 名		単位	25年度		26年度			27年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画		
	活動指標	① 住民説明会及び相談会の開催件数	回	5	1	5	3	60.0%	5		
	成果指標	② 富山県との協議回数	回	7	6	7	4	57.1%	5		
	成果指標	③ 家屋移転補償契約件数	件	7	12	5	4	80.0%	1		
	成果指標	① 幅員4m以上の道路に接する区画の割合	%	80.0	76.3	95.0	97.0	102.1%	100.0		
	成果指標	② 幅員4m以上の道路の割合	%	80.0	72.9	95.0	96.0	101.1%	100.0		
4 コスト情報	区 分		単位	25年度		26年度			27年度		
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額		
	支出内訳	①需用費	円	434,000	203,847	423,000	309,964	52.1%	97,000		
		②委託料	円	6,652,668	3,166,149	17,486,000	9,417,600	197.4%	11,276,000		
		③工事請負費	円	20,221,950	15,685,950	10,200,000	16,426,800	4.7%	40,200,000		
		④負担金補助及び交付金	円	30,000		30,000	16,000		30,000		
		⑤その他	円	184,345,103	144,702,630	148,050,000	127,330,449	-12.0%	3,712,000		
	支出合計（A）		円	211,683,721	163,758,576	176,189,000	153,500,813	-6.3%	55,315,000		
	財源内訳	①国庫支出金	円	83,235,000	65,235,000	24,335,000	22,500,000	-65.5%	26,645,000		
		②県支出金	円								
		③地方債	円	71,800,000	53,800,000	41,000,000	28,400,000	-47.2%	23,700,000		
		④その他（使用料、雑入等）	円	46,907,000	34,600,000	106,710,000	99,300,000	187.0%			
		⑤一般財源	円	9,741,721	10,123,576	4,144,000	3,300,813	-67.4%	4,970,000		
	収入合計		円	211,683,721	163,758,576	176,189,000	153,500,813	-6.3%	55,315,000		
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4		
		②年間所要時間	時間	7,800	7,800	7,800	8,000	2.6%	8,000		
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	32,760,000	32,760,000	32,760,000	33,600,000	2.6%	33,600,000		
	総 費 用（A+B）		円	244,443,721	196,518,576	208,949,000	187,100,813	-4.8%	88,915,000		
5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	道路支障となる物件の移転補償を行い区画道路の拡幅整備を進め、また、県道沿いに関しても拡幅を進めるため県と協議をしながら、物件移転補償を行なった。 その他、支障となる公共物（電柱等）の移転協議を行い、付近住民の生活環境に支障が生じないよう事業を進めた。										
6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由					
	妥 当 性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	公共性の高い事業である					
				目的の妥当性	1 妥当である	公共施設の整備と宅地の利用増進を進めている					
				対象の妥当性	1 妥当である	地区住民及び地区内の宅地を有している者を対象としている					
	有 効 性	A	A	目標達成度	1 高い	計画通りに進んでいる					
				類似事業の有無	1 なし	他の部局等において同じような事務事業が存在しない					
				上位施策への貢献度	1 高い	都市基盤の充実が図れる					
	効 率 性	A	A	コスト効率	1 高い	事業実施の過程が適正ある					
				実施主体の適正化	1 適正である	事業の実施主体は適正である					
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担（補助）割合は適正である					
1次評価 （課長総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当		2次評価	不要					
後（評価 課題及び 方針） 結果	本事業は、安全で快適に暮らしやすいまちづくりの重要なハード事業である。 事業計画に基づき整備を進めてきているが、建物移転交渉が難航している地権者が1名いる。 今後、この対応策を積極的に進めると共に、工事による通行制限等の地元住民協議や関係機関等の調整が更に必要不可欠である。				評価結果						

施設管理		平成 26年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事務事業名	総合公園等維持管理事業				担当部署	課名	都市計画課			
	予算事業名	総合公園等維持管理事業					係名	計画公園係			
	事業区分	自治事務					電話番号	0765-23-1030			
	事業期間	開始年度	昭和56年度		終了年度	当面継続		予会	計	一般会計	
	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち					款	土木費			
	政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	都市計画費			
	施策名	15 良好な都市の形成					目	都市公園管理費			
総合計画	基本事業名	15-2 市街地整備の推進				アウトソーシング導入状況		導入済（指定管理者制度）			
	根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載			
2 事業概要	事業概要	魚津総合公園、早月川緑地及びミラージュハウスの維持管理について、指定管理者に委託する。（ただし、公園施設の整備、改修は魚津市が施行する。）									
	対象	魚津総合公園、早月川緑地、ミラージュハウス									
	手段（活動指標）	指定管理者への委託業務による管理・運状況営を確認									
	意図（成果指標）	指定管理者制度の導入により、民間事業者が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図っていくことで、施設設置の目的を効果的に達成する。									
3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度			
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画			
	① ミラージュランド自主事業開催件数	回	12	12	12	12	100.0%	12			
	② 修繕をした箇所	箇所	30	30	30	35	116.7%	40			
	③ 公園使用許可数	件	20	18	20	25	125.0%	20			
	① 総合公園等利用料収入額	千円	16,300	16,300	16,300	15,071	92.5%	16,300			
	② 遊具等の利用者数	千人	300	300	300	300	100.0%	300			
③ 修繕率	%	100	100	100	100	100.0%	100				
4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度			
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額			
	支出内訳	①需用費	円	500,000	488,954	500,000	497,880	1.8%	500,000		
		②委託料	円	50,502,000	48,810,500	52,315,000	52,223,200	7.0%	49,916,000		
		③工事請負費	円	102,000,000	94,820,250	20,000,000	19,276,920	-79.7%	14,000,000		
		④負担金補助及び交付金	円						351,000		
		⑤その他	円	17,100,000	15,319,615	1,600,000	1,600,000	-89.6%	1,600,000		
	支出合計（A）		円	170,102,000	159,439,319	74,415,000	73,598,000	-53.8%	66,367,000		
	財源内訳	①国庫支出金	円	95,000,000	77,627,000						
		②県支出金	円	15,274,000	15,274,000	14,962,000	14,862,000	-2.7%			
		③地方債	円								
		④その他（使用料、雑入等）	円	2,128,000	2,059,169	1,984,000	2,051,773	-0.4%	1,984,000		
		⑤一般財源	円	57,700,000	64,479,150	57,469,000	56,684,227	-12.1%	64,383,000		
	収入合計		円	170,102,000	159,439,319	74,415,000	73,598,000	-53.8%	66,367,000		
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4		
②年間所要時間		時間	1,060	1,060	1,060	1,060	0.0%	1,060			
③人件費（②×@ 4,200 円）（B）		円	4,452,000	4,452,000	4,452,000	4,452,000	0.0%	4,452,000			
総費用（A+B）		円	174,554,000	163,891,319	78,867,000	78,050,000	-52.4%	70,819,000			
5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	・ 指定管理者への委託業務による管理・運状況営を確認。 ・ 施設の老朽化により修繕箇所が増え、ミラージュプール施設・レストハウス空調施設等の大規模修繕工事も実施。										
6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由					
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市が所有する都市公園等のため					
				目的の妥当性	1 妥当である	市が所有する都市公園等のため					
				対象の妥当性	1 妥当である	市が所有する都市公園等のため					
	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	修繕計画に基づき実施したため					
				類似事業の有無	1 なし	他の課等で実施していないため					
				上位施策への貢献度	1 高い	まちづくりに都市公園等は必要なため					
	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	最小限の予算で実施しているため					
				実施主体の適正化	1 適正である	指定管理者制度を導入しているため					
				負担割合の適正化	1 適正である	指定管理者と分担割合を定めているため					
1次評価（課長総括）	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当		2次評価	不要					
後（課題及び方針） 評価結果	平成18年度から、魚津総合公園、早月川緑地及びミラージュハウスの維持管理を指定管理者制度へ移行し、民間活力による施設維持管理運営を図っている。受託者が各種イベントを企画し、やる気や積極性があり望ましい姿であるが、施設全体が老朽化しているため、指定管理者との修繕箇所分担割合に基づいた修繕工事は必要不可欠である。				評価結果						

施設管理		平成 26年度実績に関する事務事業評価表										
1 基本項目	事 務 事 業 名	都市公園等維持管理事業				担 当 部 署	課 名	都市計画課				
	予 算 事 業 名	都市公園等維持管理事業					係 名	計画公園係				
	事 業 区 分	自治事務					電 話 番 号	0765-23-1030				
	事 業 期 間	開始年度	昭和56年度	終了年度	当面継続		予 会 計	一般会計				
	総合 計画	目 標 名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				算 科 目	款	土木費			
		政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	都市計画費			
		施 策 名	15 良好な都市の形成					目	都市公園管理費			
基本事業名		15-2 市街地整備の推進				アウトソーシング導入状況 導入済（協働）						
根 拠 法 令					総合計画等への記載				総合計画実施計画に記載			
2 事業概要	事 業 概 要	都市公園等を憩いの場として市民が安心、安全に利用できるために、都市公園等（都市公園・開発広場）の維持・管理、都市公園施設管理（遊具・樹木・芝生・トイレ等）を行う。										
	対 象	都市公園、開発広場										
	手 段 （活動指標）	雑草の草刈、樹木の剪定・雪囲い、遊具の点検・保守、施設の補修。										
	意 図 （成果指標）	管理が行き届き、清潔で安全に都市公園等を利用できる状態を保つ。										
3 指標	活動指標 成果指標	指 標 名	単位	25年度		26年度			27年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画			
		① 除草回数（延べ回数）	回	52	52	52	52	100.0%	52			
		② 遊具の点検回数	回	1	1	1	1	100.0%	1			
		③ 修繕を行った件数	件	40	24	40	44	110.0%	40			
		① 適正に管理されている都市公園等数	箇所	93	93	93	93	100.0%	93			
		②										
③												
4 コスト情報	支出内 財源内 人件費 総費用	区 分	単位	25年度		26年度			27年度			
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額			
		①需用費	円	4,884,000	4,366,566	4,900,000	4,592,829	5.2%	4,898,000			
		②委託料	円	23,102,000	23,346,540	24,655,000	24,641,048	5.5%	25,500,000			
		③工事請負費	円	1,400,000	1,365,000	3,500,000	2,800,440	105.2%	1,200,000			
		④負担金補助及び交付金	円	78,000	67,000	70,000	67,000	0.0%	70,000			
		⑤その他	円	148,000	11,087	472,000	225,145	1930.7%	467,000			
		支出合計（A）	円	29,612,000	29,156,193	33,597,000	32,326,462	10.9%	32,135,000			
		①国庫支出金	円									
		②県支出金	円									
		③地方債	円									
		④その他（使用料、雑入等）	円	812,000	142,990	824,000	937,397	555.6%	826,000			
		⑤一般財源	円	28,800,000	29,013,203	32,773,000	31,389,065	8.2%	31,309,000			
		収入合計	円	29,612,000	29,156,193	33,597,000	32,326,462	10.9%	32,135,000			
		①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3			
		②年間所要時間	時間	1,380	1,380	1,380	1,380	0.0%	1,380			
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	5,796,000	5,796,000	5,796,000	5,796,000	0.0%	5,796,000			
		総 費 用（A+B）	円	35,408,000	34,952,193	39,393,000	38,122,462	9.1%	37,931,000			
5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容											
	雑草の草刈、樹木の剪定・雪囲い、遊具の点検・保守、施設の補修を実施。											
6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由						
	妥 当 性	C	B	自治体関与の妥当性	2 検討の余地あり	開発広場については地元にも協力してもらいたいため。						
				目的の妥当性	1 妥当である	市が所有している都市公園のため						
				対象の妥当性	1 妥当である	市が所有している都市公園のため						
	有 効 性	B	B	目標達成度	1 高い	苦情・要望には迅速に対応できており達成度は高い。						
				類似事業の有無	1 なし	他の課等では同様の事業がないため						
				上位施策への貢献度	2 普通	適正な維持管理は、良好な都市の形成、美しい景観づくりに貢献している。						
	効 率 性	C	B	コスト効率	2 普通	最小限の予算で実施しているため。						
				実施主体の適正化	1 適正である	市が所有している都市公園のため						
				負担割合の適正化	1 適正である	市が所有している都市公園のため						
1 次評価 （課長総括）	C	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり		2 次評価	不要						
後（課題及び今後の方針） 評価結果	都市公園等は市民の憩いの場となっており、利用に関して適切な管理が求められている。植栽管理のほか公演の遊具についても、事故が起きないように点検業務を実施することが重要である。				評価結果							